

## 1日目 たくさんの人に見送られて、大洗港から北海道を目指し出航！



▲ゆるキャラ「あらいっぺ」も見送りに



▲元気に行ってきます！



▲たくさんの人に見送られて出発です

西部総合公園体育館で出発式を行った後、大洗港からフェリーに乗り込み出発です。B班では、保護者の他に大洗町長をはじめ大洗町職員や、ゆるキャラ「あらいっぺ」も駆けつけてくれ、盛大な見送りを受けた。

初めての船旅、親と5日間離れての生活に不安を感じながらも、元気よく「行ってきます！」と手を振っていました。

## 5日目 大洗港到着～西部総合公園体育館で解散式

船酔いで苦しんだ人もいましたが、仲間と助け合い乗り越え、下船。5日間で深い絆も生まれました。解散式後には、お世話になった引率の方達にみんなで感謝を伝えました。子どもたち達は、たくさんのお土産（思い出）を持ち帰ることができたようです。



▲船内もきちんと片付けて下船の準備



▲引率者への感謝と共に全員で最後のあいさつ

**いつもまでも  
心に残る 思い出を！**  
～ふれあいの船 北海道体験学習～

市内の小学6年生を対象とした「ふれあいの船」が、A班(7月22日～26日)168人、B班(7月28日～8月1日)156人が参加して実施。5日間の行程の中で、友人たちとの共同生活から、協力することの大切さを学ぶと共に、見知らぬ土地で人々や自然と触れ合い、普段の生活では味わえない貴重な体験をすることができました。

## 4日目 北海道最終日 札幌市内班別行動・アイヌ民族博物館見学

最終日の午前中は、札幌市内を班別で行動。ボランティアガイドの説明を聞きながら、市内の名所等を案内してもらいました。午後は、アイヌ民族博物館で伝統の舞踊や楽器の演奏を体験し、アイヌ民族の文化を学びました。北海道でのたくさんの思い出を抱えて、またフェリーに乗り込みます。



▲札幌市内をガイドの解説で散策



▲アイヌ伝統舞踊を体験



▲伝統楽器ムックリの演奏体験

## 2日目 19時間フェリーに乗ってようやく北海道到着。えこりん村を見学後、夕張市へ

船内では、ブリッジ（操舵室）を特別に見学させてもらい、船員の方から、船に関わる機械などの説明を受けました。

約19時間の船旅を終え、最初に向かったえこりん村では、ギネスに認定された1粒の種から栽培された世界一大きなトマトの木を見学。その他、たくさんの動物にも出会いました。夕張市に到着すると、ちょっとコワモテのメロン熊の熱い歓迎を受け、子どもたちも大興奮でした。



▲ブリッジ（操舵室）を見学



▲世界一大きなトマトの木にびっくり



▲メロン熊が歓迎してくれました

## 3日目 夕張市内で体験活動や夕張市民の方との交流

夕張市内では、様々な活動や見学を行いました。夕張メロンを使用したジャム作りやクレイアニメ制作など、どれも初めての体験でしたが、友だちと協力して進めることができました。クレイアニメでは、グループでストーリー設定やキャラクター作り・撮影まで試行錯誤の連続でしたが、立派な作品が完成しました。また夕張市発展の要となった炭坑について、現地や博物館を見学し、ガイドの解説を聞きながら学びました。

夕張市民の方々と交流するふれあいタイムでは、事前に船内で夕張について学習し質問を考えるなど、仲間と協力して準備しました。当日の交流では、緊張しながらもたくさんの質問をして、色々な話をすることができました。本市との違いや共通点などを発見し、夕張市をより身近に感じられたようです。



▲どんなアニメができるかな



▲メロンジャム作り。おいしくな～れ



▲地下1,000mの炭鉱内を疑似体験



▲夕張市の方とたくさん話げできました